

46

S Road MOLA



JAF Grand Prix

FUJI SPRINT CUP 2011

富士スピードウェイ(4.563Km) 22周

11/12(土) 予選 入場者数

第2Race 柳田選手 ポール獲得

晴れてもウエットコンディション 難しい路面の第2レース予選

第1レースに続きポール獲得 #46 S Road MOLA GT-R SPRINT CUP完全制覇目指す



11/12(土)

■第2レース 予選 8:05-8:20 Weather:晴れ Track:ウエット

昨日まで降り続いた雨もすっかりやみ、明るい日差しが照りつけていた。しかしながらコース上にはまだ多くの水が残るなんとも悩ましいコースコンディションであった。まずは7時50分から行われたGT300クラスの予選に注目。ドライタイヤを装着する車両とウエットタイヤを装着する車両が半々の状況で行われたGT300の第2レース予選では終始ウエットタイヤを装着する車両が圧倒的に有利な結果となった。第2レース予選を担当するのは柳田選手。#46 S Road MOLA GT-RはGT300の予選からウエットタイヤでアタックを行う事を決定。8時5分から始められたGT500の第2レース予選は前車ウエットタイヤでのコースインとなった。まずは#24 ADVAN KONDO GT-Rが1分44秒171の好タイムをマーク。トップに立った。しかしその3分後#32 EPSON HSVが1分43秒061とトップの座を奪った。しかし、#46 S Road MOLA GT-R 柳田選手は15分間の後半にコンディションは良くなっていくと予想。慌てることなくじっくりとタイヤを温め残り2分となったところで1分43秒105をマークして一気に2番手に浮上するとファイナルラップに入る。柳田選手の最後の渾身のアタックタイムは1分43秒016と#32 EPSON HSVを逆転。その他の車両のタイムアップもなく、第1レースに続き第2レースの柳田選手もポールポジションを獲得した。